

市民 談話室

来月のテーマ

公園利用のマナー

投稿ください

みなさんの意見交換の場がこの市民談話室です。来月のテーマは、「公園利用のマナー」です。桜井さんの提案について、気軽に意見をお寄せください。また新

しいテーマと意見を提案していただいてもけっこうです。薄謝をさしあげます。ページの都合で、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根一三三、白根市役所企画財政課広報広聴係。四月十七日までに郵便ポストへ。

今月のテーマ 成人式の着物に思う



▲晴れ着も華やかに会場にむかう、はたちの青年たち(昨年の成人式から)

成人式の着物に思う

今月の提案者

内藤ノブさん

(松橋・会社員・43歳)

毎年、成人式が近づくと、女の子を持つ親たちの間で、式に着ていく着物にお金がかかりすぎて困るといった話をよく聞きます。あまり着ることのない着

物に、たくさんのお金をかけなければ出られないのかと思うと、もったいないような気がします。現在、五月に成人式を行っています。五月に成人式を行っていい時期で、なおさら晴れ着——という感じがします。そこで、八月の暑い時期にやったら、着物姿も少なくなると思います。みなさんはどうお考えですか。

私の意見

成人式の意義を改めて各自ふさわしい服装で

深海静枝さん

(砂神・主婦・57歳)

成人式が近づくと、毎年のように話題になりますが、娘の晴れ着姿が一番楽しみにしているのは父親だと思います。

成人の日に行われる成人式が最もよいのですが、白根市は気候が悪いからと、五月三日に定められたように思います。

成人式の意義を考えたら、着物うんぬんより、各自のふさわしい服装で出席すべきでしょう。

成人の日は必ず迎えるものですし、一生に一度のお祝いです。

女の子ならその人に似合った衣装を、一枚くらいは将来を考え、親の手を借りずに計画したらいかがでしょうか。また、親が記念として贈ってもよいのでは

成人式の晴れ着は子どものころからの夢

Kさん(18歳)

私は今年の誕生日がくると、十九歳になります。成人式という、やっぱり晴れ着が着れるということ、小さいころから楽しみに、また夢見てきました。

だから、成人式が八月になったらしたら、せつかくの楽しみも苦しみになってしまいうさです。人生のうち、たった一度のことなんです。新しくつく

るのももったいないとしても、貸し衣装でもいいから着たい、

は時期よりも成人式そのものを考えてみたいと思うのです。大人の仲間入りとしての成人式に、晴れ着で着飾り、半日を祝辞や講演だけの形式的な式を見直す必要があると思います。

来月の提案者 桜井忠作さん(水道町・無職・76歳) 飲んだら、空びんは持ち帰るか、くず入れにしまつするべきでしょう。早速、行ってかたづけました。子どもたちの遊び場、市民の憩いの場でもある公園が、草は伸び放題、トイレもなぜあんなに汚くなってしまっているのか。公共物は、みんなで注意しあって、大切に使うべきだと思います。みなさんは、どうお考えですか。

「とっています。親はお金がかかって困るといいますが、心の底では晴れ着姿がうれしいものではないでしょうか。」

服装は簡素に心の成人式を

上杉正則さん

(茨城根・理容業・46歳)

成人式の服装も年々豪華になり、提案者の発言通りだと思ふ。主催者の「平服で心の式を」という呼びかけにもかかわらず、近年エスカレートしてきました。子どもは一生に一度と、親はみなさんと同様に、大変だと思

いながらも将来の幸を願いつつ準備するものと思います。成人式だけの着物であれば一考を要するでしょうが、なにかと晴れ着を着る機会も多いのではない

でしょうか。成人への仲間入りに親として

ある程度物心の贈りものも、意義あるものと思います。だからといって、派手にやれというものではないですね。生活の向上と様式の変化で、多岐にわたって経費がかさむ昨今、簡素化にむけ、お互いに協力していきたいものです。時期は、気候のよい五月が最適だと思ひます。

一生の思い出に晴れ着というわが娘

松沢ソヨさん

(戸石・主婦・44歳)

私の家では娘が四人、昨年一人が成人式を迎え、来年また一人が成人します。

広報しろねに「成人式の着物に思う」を読み、私も八月にやったら大賛成と、心をはげませ娘に「こんな良い記事がのっているわよ」と読んでやると、どうでしょう。「着物を着て行け

ない成人式には出なくても良い。着物姿で写真を撮って、一生の思い出にしたい」ときつい意見

いまの子どもには経済的とか節約する気持より、テレビに映るタレントたちの晴れ着姿にあこがれ、一度でもいいから着てみたいと思っているに違いない。

成人式に着れることを楽しみにしているらしい。

どうやら、成人式には娘に着物を着せてやりたい気持ちに変わってしまったようです。

ふだん着で参加する楽しい成人式を

山野井俊作さん

(新飯田・板金業・24歳)

成人式の着物についての提案ですが、たしかにあまり着る機会もない着物に多くのお金をかけなくてもよいと思います。そのためにも、五月よりも八月に成人式を、とのことですが、私

は時期よりも成人式そのものを考えてみたいと思うのです。

大人の仲間入りとしての成人式に、晴れ着で着飾り、半日を祝辞や講演だけの形式的な式を見直す必要があると思ひます。

着物や体操着やふだん着でも気軽に参加できて、フォークダンスやゲームなどのレクリエーションとか、映画、茶会、お話し広場などのコーナーでひとときを楽しく過ごし、最後にまとめとしての成人式をやれたら、と思うのです。

着物にお金をかけることより気軽に参加でき、思い出となるような成人式を望むのですが、係から Kさん、名まえと住所を係まで、薄謝を差しあげます。多数のご意見ありがとうございます。紙面の都合で、全部を載せることができませんので、お詫び申し上げます。

おの日のとき

生まれ変わった恵光寺付近

諏訪木・七軒線道路着工

新潟地震のあった昭和39年6月、都市計画街路の諏訪木・七軒線(通称恵光寺突きぬけ道路)の計画と、工事着手を広報しろねに紹介しています。

それまで市街地からは、恵光寺を右に折れ旧富月橋と土手ぞいに走る旧国道への道として、う回路もなく大変混雑していました。

この計画道路は、地元のみなさんの強い要望と、増え続ける自動車がスムーズに通行できるようにと、3か年計画で着工されました。



4 工事前の恵光寺付近



4 道路の完成でこんなに変りました

昔の恵光寺と、子どもたちの遊ぶ広場がなつかしいですね。

【私の思い出】

阿部助蔵さん

(1の町)



当時、国道だったこの道は、う回路もないことから交通量が増えました。

そのため、市の発展のためにも、陳情に陳情を重ねて、ようやく新しい道路を通してもらいました。

ちいさな協力きれいな河川

川は水道、農業用水の水源、いつもきれいに

4月1日から30日まで

河川美化月間です

